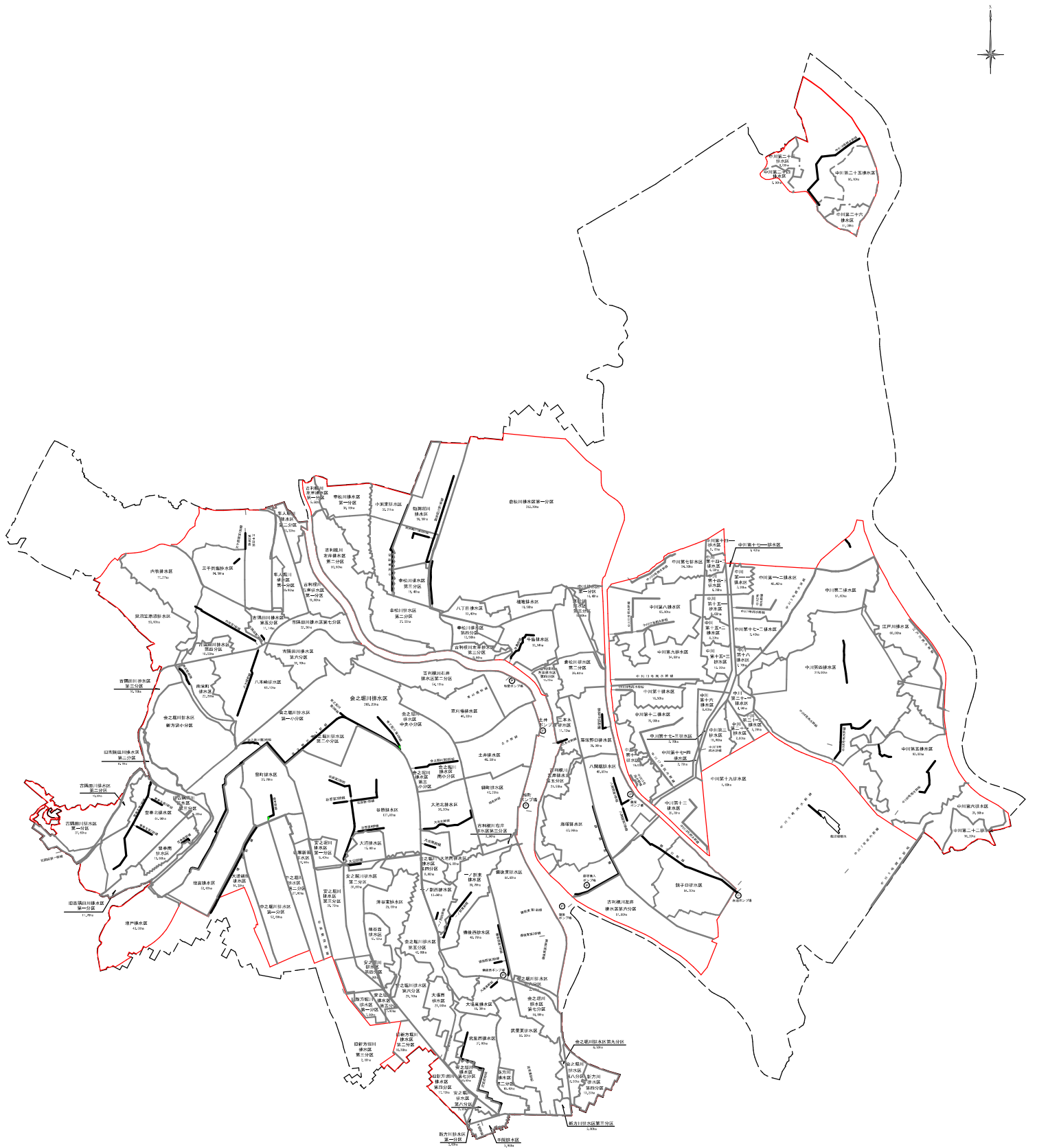


令和 7年度								委 託 仕 様 書				市 単			
委 託 名		河川施設調査(R7)業務委託													
委 託 場 所		春日部市全域													
路 河 川 名 称															
事 業 名															
業 務 大 要															
		計画改定に必要な現地調査													
		N=一式													

案内図



委託名：河川施設調査(R7)業務委託
委託箇所：春日部市全域

変 更 理 由							
備 考							
地 区	(0001) 県南	労務費補正	-	機械経費(賃料)補正	-		
単価適用年月	(R0706) 令和07年06月						
工 期	当 初	自		至			
		日 数					
	変 更				至		
経費適用年月	令和07年06月						
設 計	当 初 金 額			変 更 金 額			
	業務価格						
	消費税相当額						
	合計						
請 負	業務価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分	-						

委 託 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計						式			
				1					
_ 調査業務						式			
				1					
_ _ 解析等調査業務費						式			
				1					
_ _ _ 解析等調査業務費						式			
				1					
_ _ _ _ 既存資料の収集整理						式			第1号一位代価表
				1					
_ _ _ _ 計画改定に必要な現地調査						式			第2号一位代価表
				1					
_ _ _ _ 打合せ協議						式			第3号一位代価表
				1					
_ _ _ _ 報告書作成						式			第4号一位代価表
				1					
_ 直接原価 直接経費 電子成果品作成費（率分）						式			
				1					
_ 直接原価 直接経費 旅費交通費（率分）						式			
				1					
_ その他原価						式			
				1					

委 託 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
間接原価						式			
				1					
一般管理費等						式			
				1					
業務価格（設計）						式			
				1					

委 託 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
業務価格計						式			
				1					
_ 消費税相当額						式			
				1					
業務委託費						式			
				1					

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

経 費 根 拠 書		
項 目	内 訳	率 / 金額
<<設計>>		
◆経費計算情報		
委託先区分	建設コンサルタント	
電子成果品作成費計上区分	その他の設計業務	
旅費交通費計上区分	計上する(宿泊・滞在を伴わない)(設計業務)	
経費適用年月	令和07年06月	

第1号一位代価表

既存資料の収集整理

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
既存資料の収集整理		式			第7号特殊施工
	1				
合 計		式			

第2号一位代価表

計画改定に必要な現地調査

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現地踏査		式			第1号特殊施工
	1				
調査実施計画		式			第2号特殊施工
	1				
調査の実施		式			第3号特殊施工
	1				
調査、点検結果のとりまとめ		式			第4号特殊施工
	1				
合 計		式			

第3号一位代価表

打合せ協議

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
打合せ協議		式			第5号特殊施工
	1				
合 計		式			

第4号一位代価表

報告書作成

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
報告書作成		式			第8号特殊施工
	1				
合 計		式			

第 0001 号 一位代価表(特殊施工単価) 現地踏査
PJ0010

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
合 計	1	式	当り		

第 0002 号 一位代価表(特殊施工単価) 調査実施計画
PJ0020

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
合 計	1	式	当り		

第 0003 号 一位代価表(特殊施工単価) 調査の実施
PJ0030

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(B)	人				
技師(C)	人				
合 計	1	式	当り		

第 0004 号 一位代価表(特殊施工単価) 調査、点検結果のとりまとめ
PJ0040

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
合 計	1	式	当り		

第 0005 号 一位代価表(特殊施工単価) 打合せ協議
PJ0080

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
合 計	1	式	当り		

第 0007 号 一位代価表(特殊施工単価) 既存資料の収集整理
PJ0070

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
合 計	1	式	当り		

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
合 計	1	式	当り		

**河川施設調査(R7)業務委託
特記仕様書**

1. 適用

この特記仕様書は埼玉県土木設計業務共通仕様書に定めるもののほか、業務委託に必要な事項を定めるものとする。

2. 適用の範囲

この特記仕様書は次の業務委託に適用する。

- ・業務委託名 **河川施設調査(R7)業務委託**
- ・委託場所 **春日部市全域**

3. 管理技術者

管理技術者は、本業務の技術上の管理を行うものとし、管理技術者は下記一から三のうち、いずれかの要件を満たすものとする。

- 一. 技術士（総合技術監理部門：建設部門の選択科目は河川、砂防及び海岸・海洋とする）の資格を有するもの。またはRCCM（河川、砂防及び海岸・海洋）の資格を有するもの。
- 二. 河川維持管理技術者の資格を有するもの。
- 三. 河川点検士の資格を有するもの。

4. 照査技術者

照査技術者は、報告書の内容の妥当性の確認を行うものとし、管理技術者と同等の資格を有するものとする。

5. 業務目的

本市では令和7年6月現在、約29.7kmの準用河川と約940.3kmの普通河川が存在しており、本計画における第1期実施計画のもと、対象施設の状態把握や措置を行い、計画的な維持管理に取り組んでいるところである。

本業務は、第1期実施計画の改定に必要な現地調査を行うことを目的とする。

6. 対象施設

本業務の対象施設は、下表を基本とする。管理数量等は、本業務における現地調査等を踏まえて更新される場合がある。

表 3-1 対象施設

分類		該当施設	施設数等	実施計画対象
河川	準用河川	安之堀川、旧古隅田川、備後川、中之堀川、幸松川、動渕堀川、庄内領悪水路、18号水路、打田落とし	9 河川 29.65km	●

	普通河川（水路）	—	940.27km	●
施設	ポンプ （排水機場・調節池等）	旧倉松川排水機場、三千貝ポンプ場、藤塚野口排水機、藤塚根郷排水機 等	46 施設	●
		粕壁ポンプ場、土井ポンプ場、緑町ポンプ場、藤塚桶入ポンプ場、備後ポンプ場、藤塚ポンプ場、赤沼ポンプ場、備後西ポンプ場	8 施設 ※本計画では対象外	—
	ゲート・除塵機	藤塚三本木ゲート、備後第一ゲート、備後第二ゲート、八間堀除塵機（No.1）、八間堀除塵機（No.2）、仲井堀除塵機 等	13 施設	●

※本業務にて計画期間における対策の時期・内容、概算費用を算出するものを指す。

（春日部市都市インフラマネジメント計画より作成）

7. 業務内容

（１）対象施設の現状と課題の整理

１）既存資料の収集・整理

対象施設の現状を把握するため、第１期実施計画期間を中心に点検や措置の実績などの既存資料を収集・整理するとともに、担当職員へヒアリングを行う。

２）計画改定に必要な現地調査

計画改定（第２期実施計画の策定）に必要となる以下の現地調査を実施する。

なお、今後の点検方法については、「中小河川の堤防等河川管理施設及び 河道の点検・評価要領（R 6. 3）」に基づき、点検頻度や点検手法等について、検討を行う。

表 3-2 調査概要

対象河川・施設、数量	①準用河川 29.65km ②普通河川（幅 2.0m以上）39.86km（全延長 50.66km のうち土羽区間 10.8km は除く） ③ポンプ場 46 施設、ゲート・除塵施設 13 施設
調査目的	定期点検
調査内容	①詳細点検 徒歩による外観目視により、必要に応じて河川内に入り、護岸の変状や土砂堆積、植生繁茂の状況等を一通り確認、評価する。確認された変状について、写真撮影、計測などを実施する。

	②概略点検 徒歩による外観目視により、河川沿いに歩行しながら、護岸等に生じた重度の変状を中心に確認、評価する。確認された変状について、写真撮影などを実施する。 ③詳細点検 外観目視により、施設の土木構造部に生じた変状について、確認、評価する。確認された変状について、写真撮影、計測などを実施する。
--	--

表 3-3 堤防の点検の区間区分に応じた点検頻度・方法

設定した区間区分		点検の頻度	点検の方法
堤防が 存する区間	[1] 有堤区間（資産集中等）	1年に1回を基本	目視点検又はドローン等を活用した点検を基本。
	[2] 有堤区間（一般）	1年に1回を基本	目視点検又はドローン等を活用した点検を基本とするが、巡視の機会を活用した点検も可。
堤防が 存しない区間	[3] 掘込み等区間（資産集中等）	1年に1回が望ましい	目視点検又はドローン等を活用した点検が望ましいが、巡視の機会を活用することも可。
	[4] 掘込み等区間（一般）	1年に1回が望ましい	近年の出水時に変状が発見された箇所等を確認し、点検の必要があると判断した箇所について、目視点検又はドローン等を活用した点検が望ましいが、巡視の機会を活用することも可。

「中小河川の堤防等河川管理施設及び 河道の点検・評価要領（R 6． 3）」

＜現地調査に係る標準的な業務項目＞

（ア）現地踏査

調査に先立ち、代表的な箇所など必要と判断する範囲について調査方法を確認するための現地踏査を行う。なお、現地踏査において緊急対応を要する事象など発見した際には速やかに監督職員へ報告する。

（イ）調査実施計画

既存資料や現地踏査を踏まえ、調査の実施方法や工程、体制、安全管理等について調査実施計画書を作成し、内容について監督職員の確認を得るものとする。

（ウ）調査・点検の実施

調査実施計画に基づき、調査・点検を実施する。なお、点検実施者は、河川維持管理技術者又は河川点検士の資格を有するものとする。

（エ）調査、点検結果のとりまとめ

調査結果をとりまとめる。とりまとめの方法・様式は発注者と協議の上決定する。

（２） 打合せ協議

打合せ協議は、検討の主要な時期に3回を基本に、必要に応じて適宜行うものとする。

(3) 報告書作成

(1) ～ (3) をまとめた報告書の作成を行う。